

令和元年度青森市指定管理者選定評価委員会 会議概要
（「指定管理者制度導入の適否」に係る審査）

- 1 開催日時 令和元年5月14日（火） 16:00～16:30
- 2 開催場所 青森市役所本庁舎 1階 会議室（旧青森銀行青森市役所支店）
- 3 対象施設 青森市文化観光交流施設
- 4 出席者
 - (1) 選定評価委員会
委員長 横内 修（企画部理事次長事務取扱）
副委員長 山谷 直大（総務部理事次長事務取扱）
委員 池田 享誉（青森公立大学准教授）
委員 佐々木 信一（東北税理士会青森支部税理士）
委員 福井 直文（福祉部次長）
委員 川村 敬貴（環境部次長）
 - (2) 施設所管課（観光課）
課長 横山 明典
主幹 名久井 明紀
主査 葛西 厚大
 - (3) 制度所管課（財政課）
副参事 鈴木 健司
主査 吉田 敏和
主事 磯野 竜太郎
- 5 案件 「指定管理者制度導入の適否」に係る審査
- 6 審査結果 全委員異議なく、全会一致で以下のとおり了承された。
 - (1) 指定管理者制度導入の適否：適
 - (2) 指定期間：5年
 - (3) 利用料金制：一部利用料金制
 - (4) 募集形態：公募
 - (5) グルーピングの適否：なし（単独施設）
- 7 主な質疑内容

委員：概要調書の2017年決算額が他の年に比べて少ないがどういう事情なのか。

施設所管課：前回の提案額よりも黒字になった分を市と折半して納付してもらうこととなって

おり、2017年の指定管理料から黒字折半分を差し引いた金額が決算額となっている。

委員：修繕費が課題とのことであったが、観光客が原因による修繕もあるのか。

施設所管課：観光客が原因によるものなのかを特定することが困難であるが、外国人観光客の方が習慣の違いから、トイレの使用で詰まらせたりすることがあるということは、指定管理者から聞いている。

委員：修繕に掛かる保険加入とかがしているのか。

施設所管課：施設本体に関する保険は加入しているが、展示物に関する保険については、加入していない。

委員：入場者数は今後も増えていく見込みなのか。

施設所管課：施設所管課側としては、伸び率を勘案すると、今がピークと考えている。

委員長：課題に外国人観光客への対応とあるが、現在の対応状況はどうなっているのか。

施設所管課：外国語標記やキャッシュレス対応、パンフレット作成などの対応は行っているが、次の募集でも確実に対応できるように、募集要項に明記したいと考えている。

委員：仕様書に外国語対応が出来る職員を配置するなどの対応に努めることと標記されているが、どの程度の対応を見込んでいるのか。

施設所管課：現在は、英語対応の職員は配置されているが、東南アジア圏の対応は出来ていない。

委員：博物館などに行くと、言語を選択して展示物の説明が得られるサービスを提供しているが、ワ・ラッセはどうか。

施設所管課：自らのスマートフォンでQRコードを読み取っていただくことにより、英語や韓国語、中国語の説明が得られるサービスは行っている。

委員：修学旅行などのコースに入っているのか。

施設所管課：入っている。